



昭和36年	硬式庭球部設立 通常は平日武藏野キャンパス周辺のテニスコートで練習、土日は対抗戦、試合期は、春季、夏期関東学生、秋季新人戦、春季リーグ戦を戦っていた。
昭和54年	武藏引田にある日の出セミナーハウスのグラウンドにハードコート3面、クレーコート1面が完成
昭和62年	衛藤瀧吉学長によるスポーツ振興でテニス部が特別強化団体の一つとなる。 日本体育大学助手の堀内昌一氏を監督に採用、セレクション制度が改めて適用された。
昭和63年度	70数校の激戦区から這い上がり7部リーグで優勝、念願の6部リーグに昇格を果たし、歴代の先輩方から当時の部員まで歓喜に酔いしれた。 当時の関東学生テニスリーグは、7部制。1部から6部までは各6校ずつで総当たりのリーグを編成し、7部のみ70数校がトーナメント形式でリーグ戦を戦った。
昭和64年	ハードコート3面クレーコート2面が増設 その後、日の出校地南側の道路拡張のためのセットバックで、さらに東側にハードコート4面、人工芝2面が場所を変えて新設され、ハードコート8面、人工芝2面の計10面のテニスコートという環境が整った。

リーグ戦結果	昭和63年度	7部リーグ 優勝	6部リーグ昇格
	昭和64年度	6部リーグ全勝優勝	5部リーグ昇格
	平成2年度	5部リーグ全勝優勝	4部リーグ昇格
	平成3年度	4部リーグ全勝優勝	3部リーグ昇格
	平成4年度	3部リーグ全勝優勝	2部リーグ昇格
	平成5年度	2部リーグ全勝優勝	1部リーグ昇格
	平成6年度	1部リーグ 優勝	全日本大学テニス王座決定試合 初優勝
	平成7年度～12年度	1部リーグ 優勝	
	平成15年度	1部リーグ 優勝	等々
歴代部長・副部長	部長 昭和37年～46年	祥瑞専一教授	
	昭和47年～56年	浅見方舟教授	
	昭和57年～平成4年3月	千葉則夫教授	
	平成4年～平成7年	牧田有信教授	
	平成7年～平成23年3月	大島正克教授	
	平成23年4月～現在	宇田川裕	
	副部長 昭和59年4月～平成23年3月	宇田川裕	

ここまで道のりは決して簡単なものではなかった。当時の学長衛藤先生をはじめ、諸先生方、その他いろいろな方々のご支援をいただいて、素晴らしい環境が整ったのだ。OBの先輩方は会うたびにおっしゃっている。「君達は幸せである。こんなに良いコート、トレーニング施設、よいコーチに囲まれてテニスに励むことができるのだから」と。その想いを部員一同決して無駄にしまいと、堀内監督の下、日々練習を続けている。

春季は日の出セミナーハウスの厳しい寒さのなか2か月の合宿、夏は日照りが続くなか1か月の合宿、毎日の厳しい練習の後、特別に設けられた筋力トレーニング、サーフィットトレーニング、マラソン。1日の練習が終了するのは8時半になる。その後も自主トレーニングとしてランニングをするものがいるので、それはすさまじいものであるといえる。ただ、そこに生きている魂は、昭和36年から現在に至るまでの先輩方の良き伝統とスポーツにおいての和や礼儀があったからだと感謝している。しかし、我々は満足していない。最高の環境を与えてくださった学長先生、本物のテニスを熱心に指導いただいている監督、コーチ、歴史を築きあげてこられた多くの先輩方に、男女揃っての「日本一」をプレゼントできたらと、部員一同団結して、今後も努力邁進していく所存である。

「亞細亞学園四十年史」「亞細亞学園五十年史」を元に作成